

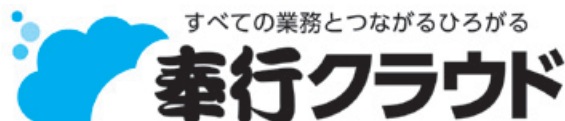
第40期 第2四半期ご報告

平成30年4月1日～平成30年9月30日



 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

証券コード：4733



ひと目でわかる! OBC

OBCは、テレビCMでおなじみの「**勘定奉行**」をはじめ、
企業で必要な基幹業務システム「**奉行シリーズ**」の
開発、販売および保守・導入指導等を行っている**ソフトウェアメーカー**です。

OBCのコアコンピタンス

- 1 企業業務(会計・人事・給与等)の業務サービスにフォーカスする
- 2 中堅および中規模・小規模企業にフォーカスする
- 3 マイクロソフトのテクノロジーにフォーカスする
- 4 パートナー戦略にフォーカスする
- 5 ブランド戦略にフォーカスする

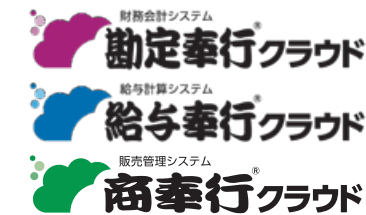
OBCのクラウド製品

■ 奉行クラウド(中小企業)

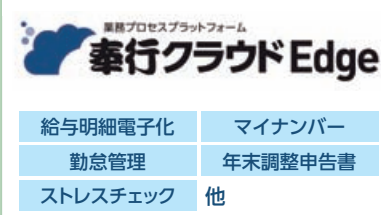
統合業務プラットフォーム



バックオフィス業務 プラットフォーム



業務プロセス プラットフォーム



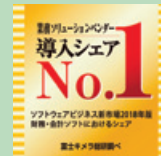
■ 統合クラウドERP(中堅企業)



安心と実績の製品・サービス、信頼できる確かな技術で
お客様のニーズにお応えしてまいります。

導入シェアNo.1の奉行シリーズ

導入実績 **56万社** 突破
※平成30年3月現在



株主の皆様へ

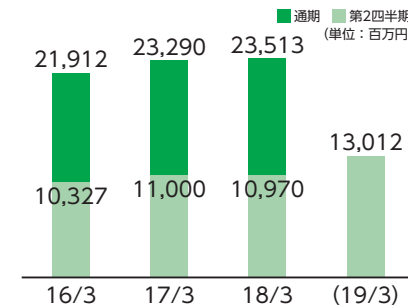


代表取締役社長 和田 成史

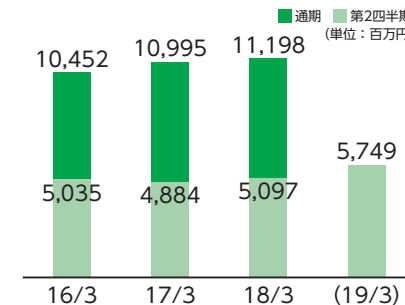
株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。
当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦に加え、日米の関税強化などの不安要素が増大している状況にあります。
また、日本国内では、各企業の労働力不足の解消と同時に生産性の向上が求められており、当社の属する情報サービス産業においては、これらの課題を解決するためのより高機能・低コストなシステムへの需要が高まっています。
このような情勢のもと、当社は、企業のバックオフィス業務や労働力不足など、さまざまな課題を解決する大きな可能性を秘めた「奉行クラウド」を2月に発売いたしました。
これからも、「顧客第一主義」を念頭におき、社会の変化や顧客のニーズを的確に捉えた製品やサービスの企画・開発と、サポートの提供に注力してまいります。
株主の皆様には、今後とも変わらぬご厚情ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

当第2四半期の業績

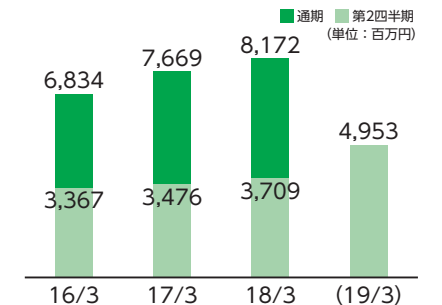
売上高 **130億12百万円**
(前年同期比 **▲** 18.6%増)



経常利益 **57億49百万円**
(前年同期比 **▲** 12.8%増)



四半期純利益 **49億53百万円**
(前年同期比 **▲** 33.5%増)

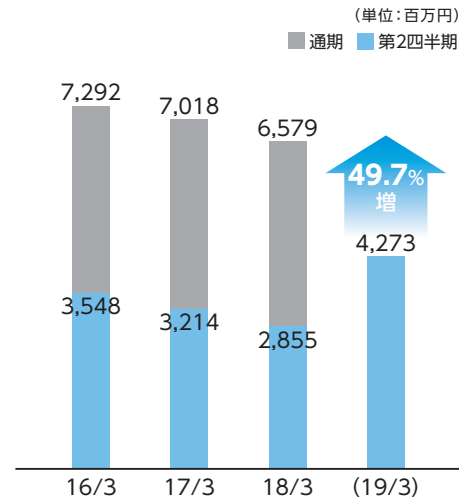


◆ 当第2四半期のポイント

- ◎プロダクト売上とサービス売上の増加や、投資有価証券の売却益などにより、売上高、営業利益、経常利益が増加し、四半期純利益は33.5%増(前年同期比)となりました。
- ◎6月より全国主要都市で「OBC/パートナーカンファレンス2018」を開催、「奉行クラウド」に加え今後予想されるさまざまな制度改正を活用したビジネス施策をパートナー様と共有することで、顧客のニーズをよりの確に捉えた製品・サービスの提供と営業活動に努めてまいりました。

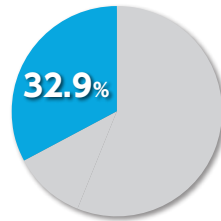
事業別の状況

ソリューションテクノロジー



◆当第2四半期の状況

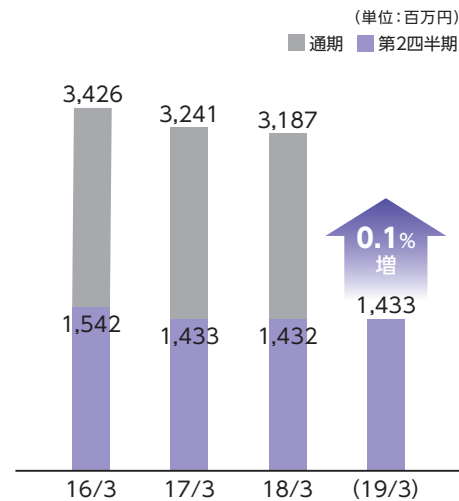
ソリューションテクノロジー部門の売上高は、42億73百万円(前年同期比49.7%増)となりました。奉行V ERPおよびLAN製品バージョンアップ需要が大幅に増加したことが主な要因です。



❖事業内容

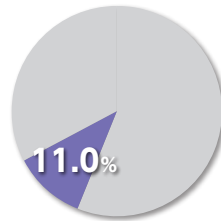
中堅および中規模・小規模企業を中心に、ITを活用したソリューションとして、「奉行シリーズ」をはじめとするソフトウェアを提供。企業規模やニーズに合わせて豊富なラインアップを用意しております。また、上位製品へのバージョンアップも当部門の売上高に含まれます。当社のソフトウェアは、販売・パートナーとの強固な連携による供給体制が確立されており、それらが強い競争力と安定成長力の基盤となっています。

関連製品



◆当第2四半期の状況

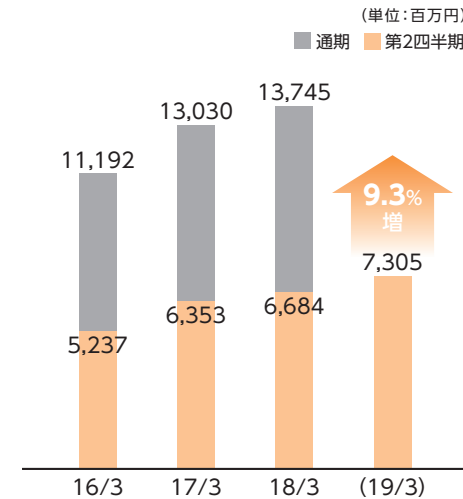
関連製品部門の売上高は、14億33百万円(前年同期比0.1%増)となりました。奉行連動ソリューションが増加しましたが、奉行サプライが減少したため前年同期比ではほぼ横這いとなりました。



❖事業内容

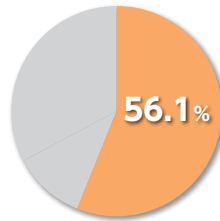
「奉行シリーズ」専用の仕様となっている伝票・帳票などの「奉行サプライ」を提供。このサプライ製品は、奉行シリーズをご購入いただいたお客様との継続的な取引につながる安定した収益源です。また奉行シリーズと連動して使用される他社開発のハードウェア、ソフトウェアの供給に伴う売上や、EB関連製品などの売上も、当部門の売上高に含まれています。

サービス



◆当第2四半期の状況

サービス部門の売上高は、73億5百万円(前年同期比9.3%増)となりました。保守サービスやインストラクターによる導入支援サービス等の増加が主な要因です。



❖事業内容

システム導入後のユーザーサポートを目的とした「年間保守契約」や「オンライン・電話回線等サポートサービス」を提供。また、基幹システムの範囲を超える業務を補う「業務クラウドEdge」を多種展開。お客様目線に立ったきめ細かなサポート体制を確立しています。こうしたサービスは、当社製品の市場における評価・優位性につながるだけでなく、売上にも大きく寄与しています。

通期の見通し

各企業では、今後も労働力不足への対応と同時に、生産性の向上が求められており、こうした経営課題を解決するための高機能・低コストのシステム需要は、ますます高まるものと予想されます。

通期の業績予想につきましては、上期同様、ソリューションテクノロジー売上およびサービス売上が順調に推移する見通しとなっております。

これからも当社では「顧客第一主義」の理念のもと、変わりゆく経済環境と進化するテクノロジーの双方をしっかりと見据え、クラウド化へのフォーカスを強めながら、信頼性・拡張性・柔軟性を兼ね備えた製品開発・保守サービスを提供してまいります。

◆2019年3月期業績予想

(単位: 百万円)

	金額	前期比
売上高	27,500	17.0%増
営業利益	11,500	18.1%増
経常利益	12,500	11.6%増
当期純利益	9,230	12.9%増

TOPICS ①

「環境変化への対応」の答えがここに。

「奉行クラウドフォーラム 2018」



お客様を取り巻く
「3つの環境変化」に
「アンケートの声」を
反映したフォーラム

顧客第一主義のもと、OBCは迫りくる「消費税10%改正・軽減税率」「働き方改革」「クラウド・IT」という3つの環境変化に備えるべく、本年10月より全国規模の「クラウドフォーラム」を開催いたしました。今回は、事前アンケートでお客様の声を集計した上で、3つのステップでお客様の課題解決の答えをとともに探す形式としました。

Step 1

聞いて理解！

各分野の専門家の講演を開催しました。抜本的な解決策を見出す内容となっており、盛況を博しました。



「消費税10%改正・軽減税率」の
対策ポイント
「働き方改革関連法」5つのツボ
「AI・RPA・IoT」最新テクノロジーが
もたらす業務変革

Step 2

見て体感！

各ブースではデモ実演を行い、クラウド製品の使いやすさやパフォーマンスなどを体感していただきました。



消費税改正ブー ス

働き方改革ブー ス

クラウド・ITブー ス

Step 3

触って実感！

製品に存分に触れて、奉行クラウドがもたらす業務変革を実感いただきました。



少人数で体感！

「自社でもできる」
ワークショップを
開催

TOPICS ②

販売管理業務のクラウド化

「商奉行クラウド」リリース！

OBCは次世代を見据え、段階的にクラウド化を進めてきました。2月には「奉行クラウド」製品として、「勘定奉行クラウド」と「給与奉行クラウド」を発売し、大変ご好評をいただいております。そして10月、販売管理業務をフルカバーし、クラウドの強みを生かして業務生産性向上を支援する販売管理システム「商奉行クラウド」をリリースしました。最新のテクノロジーを活用し、自由なアクセス、コスト抑制、消費税増税や将来の法改正などにも対応した製品です。



「商奉行クラウド」の特徴

自由アクセス
による
コスト削減

販売管理
業務を
フルカバー

消費税・
軽減税率
改正にも対応

TOPICS ③

「マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー 2018アワード」 Application Innovation アワード 最優秀賞受賞

Microsoft Azureを採用した『奉行クラウド』・『奉行クラウドEdge』の開発・取り組みで、基幹業務系システムのクラウド化が評価され、受賞に至りました。



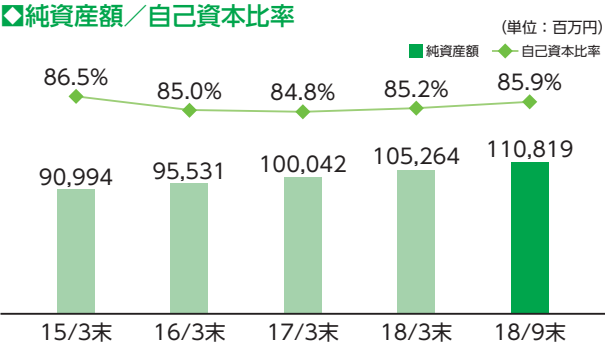
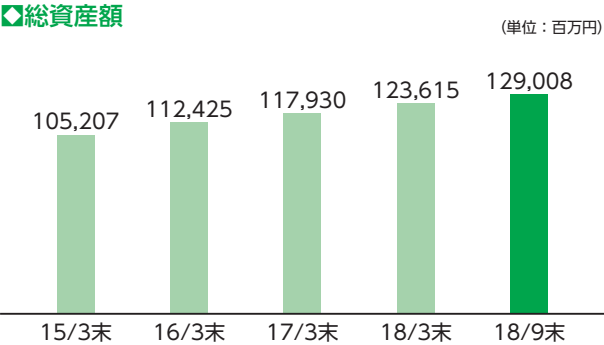
第2四半期貸借対照表

(単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第39期末 平成30年3月31日現在	第40期 第2四半期末 平成30年9月30日現在
資 産 の 部		
流動資産	95,675,235	98,488,618
固定資産	27,940,310	30,519,615
有形固定資産	537,014	474,138
無形固定資産	453,912	426,739
投資その他の資産	26,949,383	29,618,737
資産合計	123,615,545	129,008,234
負 債 の 部		
流動負債	14,954,388	13,297,703
固定負債	3,396,528	4,891,313
負債合計	18,350,916	18,189,017

純 資 産 の 部		
株主資本	95,676,776	99,126,958
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	71,557,652	75,008,015
自己株式	△5,349,143	△5,349,324
評価・換算差額等	9,587,851	11,692,258
その他有価証券評価差額金	9,587,851	11,692,258
1 純資産合計	105,264,628	110,819,216
負債純資産合計	123,615,545	129,008,234



CHECK POINT

1 純資産

純資産合計は1,108億19百万円となり、前事業年度末に比べ55億54百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は85.9%となりました。

第2四半期損益計算書

(単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	前第2四半期 累計期間 平成29年4月 1 日～ 平成29年9月30日	当第2四半期 累計期間 平成30年4月 1 日～ 平成30年9月30日
2 売上高	10,970,524	13,012,437
売上原価	1,736,866	2,031,347
売上総利益	9,233,657	10,981,090
販売費及び一般管理費	5,239,026	5,710,946
2 営業利益	3,994,631	5,270,143
営業外収益	1,103,164	481,216
営業外費用	386	1,841
3 経常利益	5,097,409	5,749,519
特別利益	－	1,409,615
特別損失	－	328
税引前四半期純利益	5,097,409	7,158,805
法人税等	1,387,866	2,205,160
法人税、住民税及び事業税	1,298,838	1,772,470
法人税等調整額	89,027	432,690
四半期純利益	3,709,543	4,953,645

CHECK POINT

2 売上高・営業利益

Windows 7対応の奉行シリーズのバージョンアップ需要が大幅に増加したため、売上高が前年同期比（以下同）18.6%の増収となりました。その結果、販管人件費および研究開発人件費が増加したものの営業利益は同31.9%の増益となりました。

3 経常利益

営業外収益に計上している投資事業組合運用益が、前年同期と比較して減少しました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

主なプラス要因は、税引前四半期純利益の計上、売上債権の減少額であり、主なマイナス要因は、前受収益の減少額、法人税等の支払額によるものです。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

主な要因は、投資有価証券の売却によるものです。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

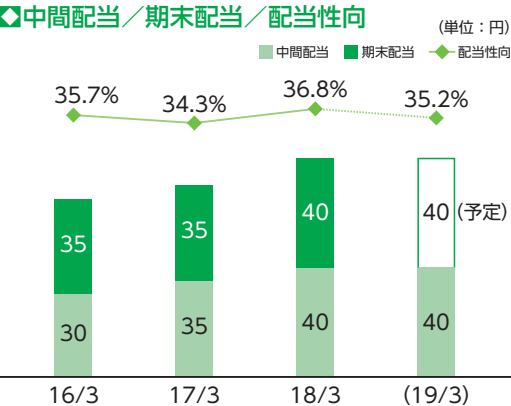
主な要因は、配当金の支払額によるものです。

第2四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

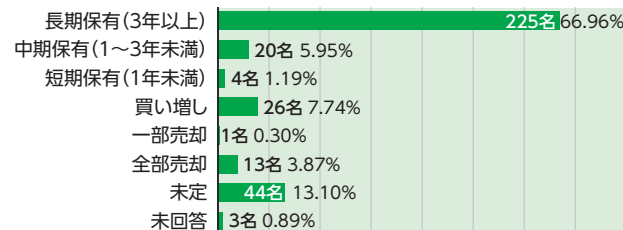
科 目	前第2四半期 累計期間 平成29年4月 1 日～ 平成29年9月30日	当第2四半期 累計期間 平成30年4月 1 日～ 平成30年9月30日
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,111,364	4,774,089
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	581,827	1,621,916
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,315,541	△1,503,333
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,377,650	4,892,672
現金及び現金同等物の期首残高	81,300,586	87,113,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	84,678,236	92,006,176



アンケート結果報告

「第39期奉行通信」で株主様へアンケートを実施させていただきました。株主数3,159名のうち336名よりご回答を頂戴しました。株主様へ御礼を申し上げますとともに、その集計結果のご報告をさせていただきます。

Q 今後の当社株式の保有方針についてお聞かせください。

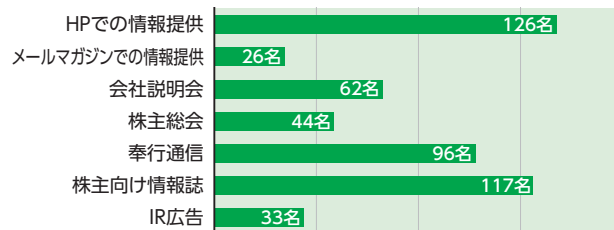


半数以上の株主様から、長期（3年以上）の保有方針とご回答をいただきました。
今後も安定的な利益還元を実現し、長期保有にメリットを感じていただけるよう、営業活動に努めてまいります。

● 奉行通信の感想より

- 普段一度に知ることが難しい情報も1冊にまとめられており、理解しやすく良かったです。
- 特集を読んで、奉行クラウド製品の利便性が理解できました。
- 用語が多少難しい点はあったがグラフ、レイアウトが読みやすかったです。

Q 当社のIR活動について特に充実を希望することは何ですか。



多くの株主様から「HPでの情報提供」「株主向け情報誌」の充実を希望されるとのご意見をいただきました。
HPのIRサイトや「奉行通信」のさらなる充実を図り、株主様の役に立つ情報開示に努めてまいります。

● その他ご意見のご紹介

- CMもインパクトがあります。今後も期待しています。
- 株主優待が魅力的です。より充実していただくことを希望します。
- 今後のセキュリティの高いクラウド製品に期待します。

企業情報

平成30年9月30日現在

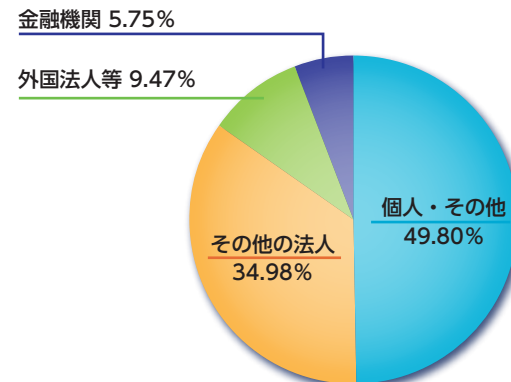
株式の状況

発行可能株式総数	161,408,000株
発行済株式の総数	40,352,000株
株主数	2,063名

大株主（上位5名）			
株主名		持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社オービック		13,589	36.16
和田成史		11,556	30.75
和田弘子		2,616	6.96
JPMC OPPENHEIMER JASDEC LENDING ACCOUNT		1,081	2.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）		542	1.44

※持株比率は自己株式（2,769千株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



※自己株式2,769,963株は、「個人・その他」に含めております。

企業プロフィール

会社概況		
商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント	
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号	
設立	昭和55年12月12日	
資本金	10,519,000 千円	
従業員数	799名	

役員		
取締役会長	野田	順弘
代表取締役社長	和田	成史
専務取締役	和田	弘子
常務取締役	中山	茂
取締役	唐鎌	勝彦
取締役	荻野	俊夫
取締役	橘	昇一
取締役	伊東	千秋
取締役	沖原	隆宗
取締役	川西	篤
常勤監査役	黒岡	成一
監査役	高橋	郁雄
監査役	井坂	眞持

主要事業拠点		
本社／東京営業部	〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー32F	
大阪支店	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F	
名古屋支店	〒450-6325 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋25F	

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
一単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

■ 株式に関する住所変更等のお届出および ご照会について

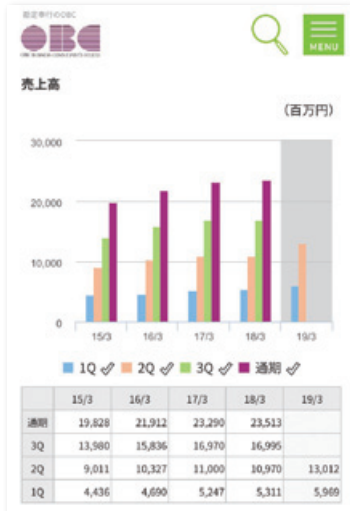
株主様の口座がある証券会社等へお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、左記の電話照会先をお願いいたします。

■ 「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際は、その添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

当社IRサイトのご案内

財務ハイライトや決算のご報告、奉行通信などが、いつでもどこでも、ご覧いただけるよう、当社IRサイトは、スマートフォンにも対応しています。



※実際にスマホで見た際の財務ハイライト画面イメージ。



① **財務ハイライト** <https://www.obc.co.jp/corporate/ir/highlight/>
四半期ごとの決算情報をもとに、見やすさを工夫。タイムリーにご覧いただけます。

② **決算のご報告** <https://www.obc.co.jp/corporate/ir/release/report>
有価証券報告書・四半期報告書に掲載された内容をもとに、より充実した情報量・体裁となりました。

③ **IRライブラリー** <https://www.obc.co.jp/corporate/ir/library/>
有価証券報告書、決算短信等、過去の開示書類をご覧いただけます。また、奉行通信やアナリスト向け説明会の内容も、このページから閲覧可能です。



株式会社

オービックビジネスコンサルタント

<https://www.obc.co.jp/>